



延命措置のこと

もし重大な病気になった場合やあなたの意識がない場合、
家族が非常に難しい判断をせまられます。ご自身の考えをまとめてみましょう。

① 重大な病気になったら告知を希望しますか

- 病名も余命も聞きたくない 病名も余命も正確に伝えてほしい
 病名は聞きたいが、余命は明確に知りたくない まだ決めかねている

自由記入欄

② 延命措置※が必要になった時の希望について、誰かと話をしたことはありますか

- ない ある 誰と：

自由記入欄

③ 延命措置※について、今のあなたの考えを教えてください

- 出来る限りの延命措置をしてほしい すべての延命措置を拒否する
 助かる見込みがない場合、延命措置はしてほしくない
 痛みのケア(緩和ケア)はしてほしい わからない

自由記入欄

※延命措置とは？(日本尊厳死協会ホームページ www.songenshi-kyokai.com より抜粋)

リビングウィルに書かれている「延命措置」とは、回復の見込みがないと診断された患者で、かつ死期が近づいているにもかかわらず、人工呼吸器や透析、胃ろうなどによって生命を維持するための措置です。

④ どのような最期を望んでいますか

場所： 看取られ方：

- 特に希望はない
 その他

記入日 年 月 日

⑤ 献体や臓器提供の希望について

献体： 未登録 登録済み【会員証(登録証)の保管場所】

臓器提供： 未登録 登録済み【意思表示カードの保管場所】

角膜提供： 未登録 登録済み【意思表示カードの保管場所】

自由記入欄



コラム リビングウィルとは？(日本尊厳死協会 HPwww.songenshi-kyokai.comより抜粋)

回復の見込みがなく、すぐにでも命の灯が消え去ろうとしているときでも、現代の医療は、あなたを生きし続けることが可能です。

ひとたびこれらの延命措置を始めたら、はずすことは容易ではありません。

「あらゆる手段を使って生きたい」

と思っている多くの方々の意思も、尊重されるべきことです。

「回復の見込みがないのなら、安らかにその時を迎えたい」と思っている方々も多数いらっしゃいます。自分の意思を元気なうちに記しておく。それがリビングウィル(LW)です。

日頃から、家族や主治医と相談をしていくことが大切です。



遺言書のこと

注意

ここに記入するのみでは、法的な効力は発生しません。
家族やご自身の参考資料としてお役立てください。

① 遺言書を作成していますか

作成している 作成していない

② 遺言書を作成している方はどこに保管してありますか

自宅 公証役場

その他

③ 遺言書を作成している方はどんな思いで作成しましたか

自由記入欄

記入日 年 月 日